



Cisco 無線 IP 電話 7920 のネットワーク プロファイルの設定

Cisco 無線 IP 電話のユーザのネットワーク プロファイルを 4 つまで設定できます。ネットワーク プロファイルには、多くの設定可能なネットワーク設定値とデバイス設定値があります。電話機または 7920 設定ユーティリティの Profile メニューを使用して、ネットワーク プロファイルを設定できます。

企業のロケーション間を移動する Cisco 無線 IP 電話のユーザは、各無線 LAN (WLAN) のロケーションに個別のネットワーク プロファイルを持つことができます。システム管理者は、ローカル SSID、WLAN 設定、および各ロケーションの認証情報でプロファイルを設定できます。

次の項で、プロファイル内にあるこれらのネットワーク設定値の設定について説明します。

- [電話機のネットワークプロファイルへのアクセス \(P.5-2\)](#)
- [ネットワーク プロファイル設定値の設定 \(P.5-4\)](#)
- [プロファイルの無線設定値の設定 \(P.5-11\)](#)

電話機のネットワークプロファイルへのアクセス

Profiles メニューおよび Network Profile メニューを使用して、Cisco 無線 IP 電話 7920 のほとんどのネットワーク設定オプションを表示および設定できます。



(注)

Cisco CallManager Administration の Phone Configuration ページから、Cisco 無線 IP 電話 7920 が Profiles メニューにアクセスできるかどうかを制御できます。Phone Configuration ページの Product Specific Configuration セクションにある Settings Access フィールドを使用します。詳細については、[P.7-2](#) の「製品固有の設定オプション」を参照してください。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [Network Profile メニューの表示 \(P.5-2\)](#)
- [ネットワーク プロファイル設定値の設定 \(P.5-4\)](#)
- [DHCP 設定の修正 \(P.5-5\)](#)
- [TFTP オプションの設定 \(P.5-10\)](#)

Network Profile メニューの表示

Cisco 無線 IP 電話 7920 で Network Profile メニューを表示する手順は、次のとおりです。

手順

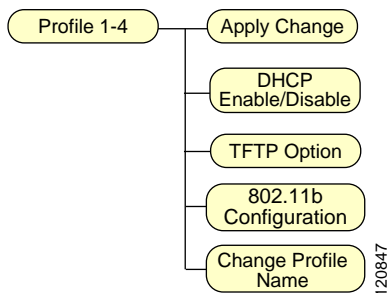
- ステップ 1** **Menu** ソフトキーを押します。
- ステップ 2** **Profiles** までスクロールして選択します。
- ステップ 3** **Network Profile** までスクロールして選択します。

ステップ 4 プロファイル名（1、2、3、または 4）までスクロールして選択します。Change Profile Name オプションを使用することで、プロファイル名を編集できます。

図 5-1 に、ネットワーク プロファイルの設定オプションを示します。

ステップ 5 Network Profile メニューでのプロファイル設定を終了するには、**Back** ソフトキーを数回押してメイン画面に戻ります。

図 5-1 ネットワーク プロファイルの設定オプション



関連項目

- ネットワーク プロファイル設定値の設定 (P.5-4)

ネットワーク プロファイル設定値の設定

Cisco 無線 IP 電話 7920 では、特定の WLAN の無線ネットワーク設定値に関するネットワーク プロファイルを設定できます。Network Profile メニューを使用して、表 5-1 に示すネットワーク設定値にアクセスできます。

表 5-1 ネットワーク プロファイル設定値

ネットワーク設定値	説明	その他の情報
Apply Change	ネットワーク プロファイルを変更した場合、変更を適用してプロファイルをアクティブにする必要があります。	P.5-24 の「無線設定値とネットワーク プロファイルへの変更の適用」を参照してください。
DHCP Enable/Disable	ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) で、電話機の IP アドレスを取得できるようにするには、Enable に設定します。  (注) DHCP が無効な場合、静的な設定値を設定する必要があります。	P.5-5 の「DHCP 設定の修正」を参照してください。
TFTP Option	DHCP で割り当てられたサーバではなく、代替 TFTP サーバを割り当てるには、このオプションを設定します。	P.5-10 の「TFTP オプションの設定」を参照してください。
802.11b Configuration	SSID など、電話機の無線設定値を設定するには、このメニューを使用します。	P.5-11 の「プロファイルの無線設定値の設定」を参照してください。
Change Profile Name	設定するプロファイルにそれぞれ意味のある名前を選択します。	P.5-24 の「プロファイル名の変更」を参照してください。

関連項目

- [プロファイル名の変更 \(P.5-24\)](#)
- [DHCP 設定の修正 \(P.5-5\)](#)
- [TFTP オプションの設定 \(P.5-10\)](#)
- [無線設定値の入力と確認 \(P.5-15\)](#)

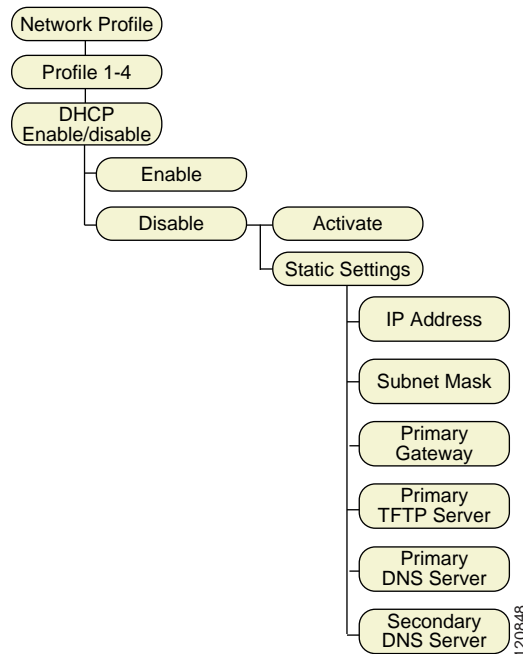
DHCP 設定の修正

デバイスをネットワークに接続したときに、自動的に IP アドレスをデバイスに割り当てるには、DHCP を使用します。ネットワークで DHCP を使用しない場合は、DHCP を無効にして、ネットワーク設定情報を手動で入力する必要があります。電話機の DHCP Enable/Disable メニュー（図 5-2）を使用して、DHCP を設定できます。

ここでは、DHCP の有効化および無効化について説明します。内容は次のとおりです。

- DHCP の有効化または無効化（P.5-6）
- 静的な設定値の設定（P.5-7）

図 5-2 DHCP Enable/Disable メニュー オプション



DHCP の有効化または無効化

Cisco IP Phone ではデフォルトで DHCP が有効ですが、ネットワークで DHCP を使用しない場合はプロトコルを無効にできます。電話機から DHCP を有効または無効にする手順は、次のとおりです。



(注)

ネットワークで DHCP が有効な場合は、この手順で IP 設定値または TFTP オプションを設定することはできません。

手順

- ステップ 1 **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。
- ステップ 2 設定するプロファイル名までスクロールして、**Select** を押します。
- ステップ 3 **DHCP Enable/Disable** にスクロールして、**Select** を押します。
- ステップ 4 **Enable** または **Disable** にスクロールして、**Select** を押します。

選択したオプションの横にチェック マークが表示されます。
- ステップ 5 **Back** を押して、メニューを終了します。

関連項目

- [静的な設定値の設定 \(P.5-7\)](#)

静的な設定値の設定

ネットワークで DHCP が無効な場合は、次の設定値を Static Settings メニューで設定する必要があります。

- IP アドレス
- サブネット マスク
- プライマリ ゲートウェイ
- プライマリ TFTP サーバ
- DNS サーバ (プライマリおよびセカンダリ)

IP 設定値を手動で設定するときは、次のガイドラインに従います。

- TFTP サーバに IP アドレスが設定されていることを確認します。
- デフォルト ゲートウェイの IP アドレスが、ホストの IP アドレスと同じサブネットにあることを確認します。



(注)

ネットワークで DHCP が有効な場合は、IP 設定値または TFTP オプションを設定する手順は使用できません。

手順

ステップ 1 **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。

ステップ 2 設定するプロファイル名までスクロールして、**Select** を押します。

ステップ 3 **DHCP Enable/Disable > Static Settings** を選択して、**Select** を押します。

Static Settings メニュー オプションが表示されます。

ステップ 4 目的のエントリまでスクロールして、**Select** を押します。

静的な設定値のフィールドの説明については、表 5-2 を参照してください。

■ ネットワーク プロファイル設定値の設定

ステップ 5 Edit ソフトキーを押して、エントリを入力または変更します。



(注) ▶ 矢印を使用して、IP アドレスのオクテット間にスペースを入力します。

値の入力方法については、[P.5-4](#) の「[ネットワーク プロファイル設定値の設定](#)」を参照してください。

ステップ 6 Back を押して Static Settings オプションに戻ります。

表 5-2 DHCP が無効な場合の静的な設定値

静的な設定値	説明
IP Address	IP アドレス。システム管理者によって電話機に割り当てられた一意の識別子です。
Subnet Mask	IP アドレスをネットワーク識別子とホスト識別子に分割するために使用され、TCP/IP がこれらの識別子を区別できるようにします。
Primary Gateway	電話機が属するサブネットを超えて IP ネットワークに接続できるゲートウェイを識別します。
Primary TFTP Server	電話機が設定ファイルの取得に使用する TFTP サーバを識別します。
Primary DNS Server Secondary DNS Server	システムが IP アドレスではなくサーバのホスト名を使用するように設定されている場合、プライマリおよびセカンダリ DNS サーバを識別してホスト名を解決します。

関連項目

- [Network Profile メニューの表示 \(P.5-2\)](#)
- [DHCP 設定の修正 \(P.5-5\)](#)
- [TFTP オプションの設定 \(P.5-10\)](#)
- [802.11b Configuration メニューの表示 \(P.5-11\)](#)

TFTP オプションの設定

DHCP を使用して Cisco IP Phone を TFTP サーバに割り当てる場合、一部の電話機に、DHCP によって割り当てられるサーバではなく代替 TFTP サーバを割り当てることもできます。TFTP サーバを電話機に割り当てる手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。
 - ステップ 2** 設定するプロファイル名までスクロールして、**Select** を押します。
 - ステップ 3** **TFTP Option** までスクロールして、**Select** を押します。
 - ステップ 4** DHCP を使用して TFTP サーバの IP アドレスを割り当てる場合は、**Use DHCP** までスクロールします。または、**Static Settings** オプションで割り当てた TFTP サーバの IP アドレスを使用する場合は、**Use Static** までスクロールします。
 - ステップ 5** **Select** を押します。
 - ステップ 6** **Back** を押して Network Config メニューに戻ります。
-

関連項目

- [静的な設定値の設定 \(P.5-7\)](#)
- [DHCP 設定の修正 \(P.5-5\)](#)
- [プロファイルの無線設定値の設定 \(P.5-11\)](#)

プロファイルの無線設定値の設定

802.11b Configuration メニューには、電話機がアクセス ポイントでの認証に使用する設定値が含まれています。これらの設定値には、SSID、認証タイプ、電話機が使用する暗号化データが含まれます。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [802.11b Configuration メニューの表示 \(P.5-11\)](#)
- [802.11b Configuration メニューの無線設定値オプション \(P.5-13\)](#)
- [無線設定値の入力と確認 \(P.5-15\)](#)

802.11b Configuration メニューの表示

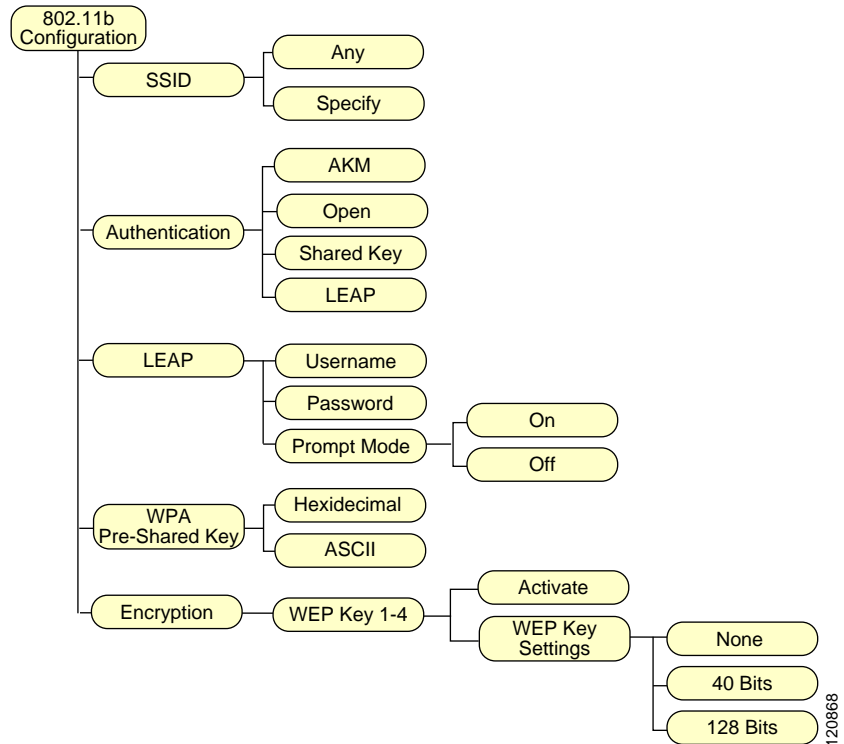
Cisco 無線 IP 電話 7920 で 802.11b Configuration メニュー オプションを表示する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。
 - ステップ 2** 設定するプロファイル名までスクロールして、**Select** を押します。
 - ステップ 3** 変更するプロファイルまでスクロールして選択します。
 - ステップ 4** **802.11b Configuration** までスクロールして選択します。

[図 5-4](#) に、802.11b Configuration メニューのメニュー オプションを示します。

図 5-4 802.11b Configuration メニュー オプション



関連項目

- [802.11b Configuration メニューの無線設定値オプション \(P.5-13\)](#)
- [電話機のネットワークプロファイルへのアクセス \(P.5-2\)](#)
- [ネットワーク プロファイル設定値の設定 \(P.5-4\)](#)

802.11b Configuration メニューの無線設定値オプション

電話機のさまざまなネットワーク プロファイルに関する設定情報を Cisco 無線 IP 電話 7920 に表示できます。この情報を使用して、問題のトラブルシューティングや設定値の変更ができます。802.11b Configuration メニューを使用して、表 5-3 に示す無線ネットワーク設定値にアクセスできます。

表 5-3 無線ネットワーク設定値

ネットワーク設定値	説明	使用上の注意
SSID	無線アクセス ポイントにアクセスするための一意な識別子。	Service Set Identifier (SSID) の設定 (P.5-15)
Authentication	アクセス ポイントに対する電話機の要求が認証されていることを確認するために使用するセキュリティタイプ。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • Open : アクセス ポイントへの開放型アクセス • Shared Key : アクセス ポイントでの認証 • LEAP : RADIUS サーバを使用する認証 • AKM : 認証キー管理 (アクセス ポイントとキー管理方式のタイプ (WPA、CCKM、または WPA-PSK のいずれか) を電話機で選択できます) 	認証タイプの選択 (P.5-16)
LEAP	RADIUS サーバを使用する無線通信保護用のシスコの専用認証および暗号化方式。	Light Extensible Authentication Protocol (LEAP) の設定 (P.5-18)
WPA Pre-shared Key	アクセス ポイントと電話機の両方で設定されたキーを使用する認証方式。パスワード フレーズ形式のオプションは、16 進数または ASCII です。	Wireless Protected Access (WPA) 事前共有キー タイプの選択 (P.5-20)
WEP Key	暗号化キーを使用して無線通信を保護する暗号化方式。 40 ビットまたは 128 ビットの文字列を使用して WEP キーを 4 つまで設定できます。	Wired Equivalent Privacy (WEP) キーの設定 (P.5-21)

■ プロファイルの無線設定値の設定

認証および暗号化の設定値の選択

WLAN で使用している認証方式および暗号化方式のタイプにより、Cisco 無線 IP 電話のネットワーク プロファイルでの認証および暗号化オプションの設定方法が決まります。表 5-4 に、Cisco 無線 IP 電話 7920 上で設定可能な、サポートされる認証方式および暗号化方式のリストを示します。

表 5-4 認証および暗号化の設定オプション

認証	暗号化
Open	Static WEP (使用されている場合は、WEP キーが必要)
Shared Key	Static WEP (必須) (WEP キーが必要)
LEAP (ユーザ名およびパスワードが必要)	WEP
AKM と CCKM (ユーザ名およびパスワードが必要)	TKIP または WEP (WEP キーが必要)
AKM と WPA	TKIP
AKM と WPA 事前共有キー (WPA-PSK のパスワードが必要)	TKIP

関連項目

- [無線設定値の入力と確認 \(P.5-15\)](#)
- [認証方式および暗号化方式の選択 \(P.2-18\)](#)
- [ネットワーク プロファイル設定値の設定 \(P.5-4\)](#)

無線設定値の入力と確認

ここでは、無線設定値に関する次の情報について説明します。

- [Service Set Identifier \(SSID\) の設定 \(P.5-15\)](#)
- [認証タイプの選択 \(P.5-16\)](#)
- [Light Extensible Authentication Protocol \(LEAP\) の設定 \(P.5-18\)](#)
- [Wireless Protected Access \(WPA\) 事前共有キー タイプの選択 \(P.5-20\)](#)
- [Wired Equivalent Privacy \(WEP\) キーの設定 \(P.5-21\)](#)
- [無線設定値とネットワーク プロファイルへの変更の適用 \(P.5-24\)](#)

Service Set Identifier (SSID) の設定

SSID は、複数の Cisco 無線 IP 電話 7920 が 1 つ以上のアクセス ポイント (AP) を介して相互に通信する際に使用する、一意の ID です。無線ネットワークのアクセス ポイントに割り当てたものと同じ SSID を電話機にも割り当てる必要があります。1 つのネットワークまたはサブネットワークで、複数のアクセス ポイントが同じ SSID を共有できます。

ネットワーク プロファイルに SSID を割り当てるには、「Any」オプションを選択して、電話機がすべてのアクセス ポイントにアクセスできるようにします。「Specify」オプションを選択して、特定の SSID を入力することもできます。SSID には任意の値を使用できますが、32 文字を超える英数字は使用できません。

SSID 設定値を設定する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。
 - ステップ 2** 変更するプロファイルまでスクロールして選択します。
 - ステップ 3** **802.11b Configuration** までスクロールして選択します。

■ プロファイルの無線設定値の設定

ステップ 4 SSID までスクロールして、**Select** を押します。

SSID オプションが表示されます。

ステップ 5 Any または **Specify** を選択します。

ステップ 6 「Specify」を選択した場合は、**Edit** を押して、SSID 値を入力します。



(注) SSID は大文字と小文字が区別されるため、ネットワークで設定したとおりに入力する必要があります。

ステップ 7 入力を終了したら、**Save** を押します。

ステップ 8 **Back** を押して Wireless オプションに戻ります。

関連項目

- [認証タイプの選択](#)
- [Wired Equivalent Privacy \(WEP\) キーの設定](#)
- [無線設定値とネットワーク プロファイルへの変更の適用](#)

認証タイプの選択

Cisco 無線 IP 電話 7920 は、次に示す 4 つのタイプの認証をサポートします。

- **Open** : すべてのアクセス ポイントにアクセスでき、オプションで、ローカルアクセス ポイントで WEP キーを使用する認証ができます。
- **Shared Key** : ローカル アクセス ポイントで WEP キーを使用する共有キー認証を行います。
- **LEAP** : 802.11 無線 LAN 環境で使用するシスコの専用プロトコルで、パスワードおよびユーザ名をネットワークの RADIUS サーバと交換します。
- **AKM** : 認証およびキー管理のオプション (WPA-PSK、WPA、または CCKM を含む) を提供し、無線ドメインサーバ (WDS) を使用する必要があります。

プロファイルの認証タイプを選択する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。

ステップ 2 変更するプロファイルまでスクロールして選択します。

ステップ 3 **802.11b Configuration** までスクロールして選択します。

ステップ 4 **Authentication** までスクロールして、**Select** を押します。

Authentication オプションが表示されます。

ステップ 5 次のいずれかのオプションまでスクロールして、**Select** を押します。

- AKM
- Open
- Shared Key
- LEAP

選択した認証タイプの横にチェック マークが表示されます。



(注) Shared Key 認証タイプを選択する前に、WEP キー暗号化を有効にする必要があります。有効でない場合、「Enable WEP Key first!」というメッセージが表示されます。

関連項目

- [Wired Equivalent Privacy \(WEP\) キーの設定](#)
- [Service Set Identifier \(SSID\) の設定](#)
- [無線設定値とネットワーク プロファイルへの変更の適用](#)

Light Extensible Authentication Protocol (LEAP) の設定

ネットワークで Cisco LEAP または AKM を使用してユーザ認証を行う場合は、アクセス コントロール サーバ (ACS) と電話機に、ユーザ名とパスワードの両方を設定する必要があります。



(注)

ネットワーク内でドメインを使用する場合、*domain\username* という形式で、ドメイン名が付いたユーザ名を入力する必要があります。

電話機に LEAP 要求を設定する手順は、次のとおりです。

LEAP ユーザ名またはパスワードの設定

LEAP ユーザ名またはパスワードを入力または変更するには、RADIUS サーバで設定したのとまったく同じ、電話オプションのユーザ名またはパスワード文字列を使用する必要があります。



(注)

LEAP ユーザ名またはパスワードの最大長は 32 文字です。

電話機に LEAP ユーザ名およびパスワードを設定する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Menu > Profiles > Network Profile を選択します。

ステップ 2 変更するプロファイルまでスクロールして選択します。

ステップ 3 802.11b Configuration > LEAP までスクロールして選択します。

LEAP オプションが表示されます。

ステップ 4 Username または Password にスクロールして、Select を押します。

ステップ 5 **Edit** ソフトキーを押します。

ステップ 6 ユーザ名またはパスワードを入力または修正します。

値の入力方法については、[P.5-9](#) の「[Network Profile](#) メニューの設定を編集するときのガイドライン」を参照してください。

ステップ 7 **OK** を押して、変更を確認します。

ステップ 8 **Back** を押して LEAP オプションに戻ります。

LEAP プロンプト モードのオンとオフの切り替え

LEAP プロンプト モードがオンの場合、Cisco 無線 IP 電話 7920 の電源をオンにするたびに、LEAP ユーザ名とパスワードを入力するように要求するメッセージが電話機に表示されます。

電話機に LEAP プロンプトを設定する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。

ステップ 2 変更するプロファイルまでスクロールして選択します。

ステップ 3 **802.11b Configuration > LEAP** までスクロールして選択します。

LEAP オプションが表示されます。

ステップ 4 **Prompt Mode** までスクロールして、**Select** を押します。

ステップ 5 プロンプト モードをオフにするには、**Off** までスクロールします。

プロンプト モードをオンにするには、**On** までスクロールします。

■ プロファイルの無線設定値の設定

ステップ 6 **Select** を押して、変更を確認します。

選択したオプションの横にチェック マークが表示されます。

ステップ 7 **Back** を押して LEAP オプションに戻ります。

関連項目

- [プロファイルの無線設定値の設定 \(P.5-11\)](#)

Wireless Protected Access (WPA) 事前共有キー タイプの選択

認証に WPA 事前共有キーを使用する場合、Cisco 無線 IP 電話 7920 では次の 2 つの文字形式がサポートされます。

- 16 進数: 64 文字の文字列の認証キーで、0 ~ 9 および A ~ F を使用できます。
- ASCII: 8 ~ 63 文字の文字列の認証キーで、0 ~ 9、A ~ Z (大文字と小文字)、およびすべての記号を使用できます。

WPA 事前共有キーを設定する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。

ステップ 2 変更するプロファイルまでスクロールして選択します。

ステップ 3 **802.11b Configuration** までスクロールして選択します。

ステップ 4 **WPA-Pre-shared Key** までスクロールして、**Select** を押します。

オプションが表示されます。

ステップ 5 次のいずれかのオプションまでスクロールして、**Select** を押します。

- Hexadecimal
- ASCII

選択した形式の横にチェック マークが表示されます。

ステップ 6 次のように、パスワードの適切な文字列を入力します。

- Hexadecimal : 64 文字の 16 進数の文字列。
- ASCII : 8 ~ 63 文字の ASCII 形式の文字列。

Wired Equivalent Privacy (WEP) キーの設定

802.11b 規格には、*Wired Equivalent Privacy* (WEP) というオプションの暗号化方式が用意されています。無線ネットワークで WEP 暗号化を使用している場合は、16 進数キーを入力してから WEP キーをアクティブにする必要があります。

電話機の WEP キーは、アクセス ポイントに割り当てられた WEP キーと同じである必要があります。Cisco 無線 IP 電話 7920 と Cisco Aironet アクセス ポイントは、40 ビット暗号化キーと 128 ビット暗号化キーの両方をサポートします。WLAN で WEP 暗号化を使用しない場合は、None を選択します。

WEP キーの設定

次の種類の暗号化方式のいずれかを選択できます。

- 40 ビット暗号化 : 0 ~ 9、A ~ F の 16 進数形式を使用する 10 桁のパスワードを入力する必要があります (ABCD123456 など)。
- 128 ビット暗号化 : 0 ~ 9、A ~ F の 16 進数形式を使用する 26 桁のパスワードを入力する必要があります (AB123456789CD01234567890EF など)。
- なし (None) : WEP キー機能を無効にします。

WEP キーを設定する手順は、次のとおりです。

■ プロファイルの無線設定値の設定

手順

ステップ 1 **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。

ステップ 2 変更するプロファイルまでスクロールして選択します。

ステップ 3 **802.11b Configuration > Encryption** までスクロールして選択します。

WEP Key オプションが表示されます。

ステップ 4 アクティブにした WEP キー（WEP Key 1 など）までスクロールして、**Select** を押します。

ステップ 5 **WEP Key Settings** までスクロールして、**Select** を押します。

ステップ 6 次のいずれかのオプションを選択します。

- **None** : WEP キー機能を無効にします。チェック マークが表示されます。
- **40 Bits** : 10 桁のパスワードを入力します。
- **128 Bits** : 26 桁のパスワードを入力します。

ステップ 7 入力を終了したら、**Back** を押します。

選択したオプションの横にチェック マークが表示されます。

WEP キーのアクティブ化

WEP キーを設定した後、それをアクティブにする必要があります。キーをアクティブにする手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。

ステップ 2 変更するプロファイルまでスクロールして選択します。

ステップ 3 **802.11b Configuration > Encryption** までスクロールして選択します。

WEP Key オプションが表示されます。

ステップ 4 アクティブにする WEP キーまでスクロールして、**Select** を押します。

ステップ 5 **Activate** までスクロールして、**OK** を押し、キーをアクティブにします。

アクティブになったキーの横にチェック マークが表示されます。

ステップ 6 **Back** を押して Wireless Setting オプションに戻ります。

関連項目

- [無線設定値とネットワーク プロファイルへの変更の適用](#)
- [Service Set Identifier \(SSID\) の設定](#)
- [認証タイプの選択](#)

無線設定値とネットワーク プロファイルへの変更の適用

ネットワーク プロファイルで設定値を変更した場合は、必ずネットワーク プロファイルにその変更を適用する必要があります。変更をアクティブにする手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。

ステップ 2 変更したプロファイルまでスクロールして選択します。

ステップ 3 **Apply Change** を選択します。

Service Set Identifier (SSID)、認証タイプ、または暗号化データがアクティブになります。

プロファイル名の変更

ネットワーク プロファイルのデフォルト名を、「Headquarters」または「Branch office」など、ユーザにとって分かりやすい名前に変更できます。名前は、ネットワーク プロファイルへの変更を行う前または後に変更できます。

プロファイルの名前を変更する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Menu > Profiles > Network Profile** を選択します。

ステップ 2 名前を変更するプロファイルまでスクロールして選択します。

ステップ 3 **Change Profile Name** までスクロールして選択します。

ステップ 4 **Edit** を押し、新しい名前を入力します。

ステップ 5 **OK** を押し、次に **Back** を押して名前の変更を終了します。

関連項目

- [802.11b Configuration メニューの無線設定値オプション \(P.5-13\)](#)
- [802.11b Configuration メニューの表示 \(P.5-11\)](#)

■ プロファイルの無線設定値の設定